

## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月14日

上場会社名	株式会社エコノス	上場取引所	札
コード番号	3136	URL	http://www.eco-nos.com/
代表者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)長谷川 勝也	
問合せ先責任者	(役職名)取締役副社長	(氏名)新行内 宏之	(TEL)011-875-1996
四半期報告書提出予定日	2020年2月14日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 無		
四半期決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	2,854	1.7	△112	—	△155	—	△187	—
2019年3月期第3四半期	2,805	△1.1	36	—	0	—	△24	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △185百万円 ( -%) 2019年3月期第3四半期 △26百万円 ( -%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△213.27	—
2019年3月期第3四半期	△28.25	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、2020年3月期第3四半期及び2019年3月期第3四半期においては、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	2,561	112	4.4
2019年3月期	2,651	297	11.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 111百万円 2019年3月期 296百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,900	0.8	5	△95.8	△44	—	△78	—	△89.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 1社(社名) 野空使保信息咨(上海)有限公司

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲の重要な変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	879,498株	2019年3月期	879,098株
2020年3月期3Q	289株	2019年3月期	289株
2020年3月期3Q	878,959株	2019年3月期3Q	878,809株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲の重要な変更)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の底堅い推移や雇用情勢の改善により、緩やかな回復基調で推移しておりましたが、2019年10月の消費税増税による国内消費への影響等により、景気の先行きは不透明な状況となっております。

また、世界経済に関しては、米中貿易摩擦問題や英国のEU離脱問題に部分的な沈静化が図られたものの、地政学的リスクによる世界経済の減速懸念とそれに伴う株式市場・為替市場の不安定さなどが依然としてあります。

当社グループにおきましては、リユース事業は、2019年10月の消費税増税後の国内消費の落ち込み等により、新規店舗を除く既存店舗の売上高が北海道胆振東部地震のあった前年同四半期並みにとどまったこと、粗利益率が低下した一方で、主にパート・アルバイト従業員の増員により人件費等が増加したこと、第2四半期におけるエコタウン旭川西店（3業態）及び当第3四半期における札幌中の島店（3業態）の新規開店費用が発生したことなどにより、販売費及び一般管理費が大きく増加した結果、セグメント利益が大きく減少しました。ただし、リユース商品の買取については好調に推移し、前年実績を大きく上回りました。

低炭素事業につきましては、カーボン・オフセットの受注は順調に推移しておりますが、売上計上時期が第4四半期に集中するため、前年同四半期と比較して売上高が減少いたしました。

また、当第3四半期におきまして、新たな事業領域としてインバウンド事業に参入するため、タイ王国企業のThai Tiao Nok Co, Ltdの日本法人である株式会社TTN JAPANと資本業務提携を行い、第三者割当による新株予約権を発行いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高2,854,241千円（前年同四半期比1.7%増）、営業損失112,662千円（前年同四半期は営業利益36,280千円）、経常損失155,779千円（前年同四半期は経常利益607千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失187,456千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失24,549千円）となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次の通りであります。

## (リユース事業)

リユース事業におきましては、2019年10月の消費税増税後の国内消費の落ち込み等により、新規店舗を除く既存店舗の売上高が北海道胆振東部地震のあった前年同四半期並みにとどまったこと、粗利益率が低下した一方で、主にパート・アルバイト従業員の増員により人件費等が増加したこと、第2四半期におけるエコタウン旭川西店（3業態）及び当第3四半期における札幌中の島店（3業態）の新規開店費用が発生したことなどにより、販売費及び一般管理費が大きく増加した結果、セグメント利益が大きく減少しました。ただし、リユース商品の買取については好調に推移し、前年実績を大きく上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高2,721,259千円（前年同四半期比2.0%増）、セグメント利益は132,520千円（前年同四半期比49.1%減）となりました。

当第3四半期連結会計期間末現在におけるリユース事業の各業態別の店舗数は以下のとおりであります。

(単位：店)

	ブックオフ 事業部	ハードオフ事業部				ハードオフ 事業部計	合計
		ハードオフ	オフハウス	ホビーオフ	ガレージ オフ		
店舗数	17	15	17	16	1	49	66

(注)ブックオフ事業部の店舗数にはインターネット販売の1店舗を含みます。

## (低炭素事業)

低炭素事業におきましては、カーボン・オフセットの受注は順調に推移しておりますが、売上計上時期が第4四半期に集中するため、前年同四半期と比較して売上高が減少いたしました。

P P S (特定規模電気事業者) 等を中心として、カーボン・オフセットの需要は引き続き旺盛であるため、当社グループとしましては、カーボン・オフセットの仕入を円滑に行うことにより、利益の確保に努めてまいります。

なお、カーボン・オフセット・プロバイダー事業につきましては、年度上期に受注して年度末に業務が完了する契約が多いという特徴があります。そのため、売上計上までに経費が先行して計上され、第3四半期連結累計期間までは営業利益のマイナスが続く傾向があります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高98,802千円(前年同四半期比9.8%減)、セグメント損失は41,239千円(前年同四半期はセグメント損失40,145千円)となりました。

## (その他)

本セグメントは報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業とiCracked Storeの運営を通じてiPhoneの修理等のサービスを行うリペア事業を含んでおります。

リペア事業につきましては、第2四半期にiCracked Store吉祥寺を、当第3四半期にiCracked Store大宮をオープンし、新規開店費用を計上いたしました。

以上の結果、本セグメントの当第3四半期連結累計期間の業績は売上高34,179千円(前年同四半期比17.9%増)、セグメント損失は12,393千円(前年同四半期はセグメント利益1,523千円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、1,293,801千円となり、前連結会計年度末と比べて207,384千円の減少となりました。これは、主に現金及び預金の減少185,157千円及び売掛金の減少73,322千円、たな卸資産の増加47,967千円によるものです。

また、当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、1,267,712千円となり、前連結会計年度末と比べて117,322千円の増加となりました。これは、主に有形固定資産の増加87,623千円及び投資その他の資産の増加26,821千円によるものです。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、990,957千円となり、前連結会計年度末と比べて65,247千円の減少となりました。これは、主に1年内返済予定の長期借入金の増加52,231千円、買掛金の減少64,247千円、未払法人税等の減少22,408千円及び未払消費税等の減少12,709千円によるものです。

また、当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、1,457,709千円となり、前連結会計年度末と比べて159,595千円の増加となりました。これは、主に長期借入金の増加151,300千円によるものです。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、112,847千円となり、前連結会計年度末と比べて184,410千円の減少となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上187,456千円によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年11月1日付で公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	511,173	326,016
売掛金	175,203	101,880
たな卸資産	757,910	805,878
前払費用	49,841	50,873
その他	7,057	9,153
流動資産合計	1,501,186	1,293,801
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	133,681	193,301
工具、器具及び備品(純額)	86,848	139,088
土地	115,483	115,483
リース資産(純額)	437,040	413,287
その他(純額)	2,631	2,148
有形固定資産合計	775,684	863,308
無形固定資産		
その他	1,727	4,604
無形固定資産合計	1,727	4,604
投資その他の資産		
投資有価証券	30,051	34,426
敷金	276,830	291,967
繰延税金資産	5,290	-
その他	60,806	73,405
投資その他の資産合計	372,978	399,799
固定資産合計	1,150,390	1,267,712
資産合計	2,651,576	2,561,514

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	76,438	12,190
短期借入金	450,000	450,000
1年内償還予定の社債	16,600	17,000
1年内返済予定の長期借入金	239,101	291,332
リース債務	35,842	36,240
未払金	99,087	91,966
未払費用	63,147	69,406
未払法人税等	23,315	906
未払消費税等	18,829	6,120
賞与引当金	-	1,570
ポイント引当金	3,677	4,043
その他	30,163	10,180
流動負債合計	1,056,204	990,957
固定負債		
社債	58,700	50,000
長期借入金	466,293	617,593
リース債務	586,780	563,900
長期末払金	51,813	47,254
長期前受収益	16	-
退職給付に係る負債	46,733	52,064
資産除去債務	87,475	105,874
繰延税金負債	-	20,720
その他	300	300
固定負債合計	1,298,113	1,457,709
負債合計	2,354,317	2,448,666
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,895	213,947
資本剰余金	162,222	162,214
利益剰余金	△82,180	△269,962
自己株式	△164	△164
株主資本合計	293,773	106,035
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,859	5,430
為替換算調整勘定	△575	-
その他の包括利益累計額合計	2,283	5,430
新株予約権	-	1,382
非支配株主持分	1,201	-
純資産合計	297,258	112,847
負債純資産合計	2,651,576	2,561,514

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	2,805,281	2,854,241
売上原価	914,692	982,311
売上総利益	1,890,589	1,871,929
販売費及び一般管理費	1,854,308	1,984,592
営業利益又は営業損失(△)	36,280	△112,662
営業外収益		
受取配当金	953	1,023
受取手数料	6,687	6,687
協賛金収入	1,305	1,302
その他	7,916	8,114
営業外収益合計	16,862	17,128
営業外費用		
支払利息	50,734	49,737
その他	1,800	10,508
営業外費用合計	52,535	60,245
経常利益又は経常損失(△)	607	△155,779
特別損失		
賃貸借契約解約損	-	4,800
災害による損失	3,217	-
特別損失合計	3,217	4,800
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,609	△160,579
法人税、住民税及び事業税	9,179	3,141
法人税等調整額	12,760	24,886
法人税等合計	21,939	28,027
四半期純損失(△)	△24,549	△188,607
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△1,150
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△24,549	△187,456



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
四半期純損失(△)	△24,549	△188,607
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,677	2,570
為替換算調整勘定	162	575
その他の包括利益合計	△1,514	3,146
四半期包括利益	△26,064	△185,460
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△26,064	△184,309
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△1,150



## (セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	リユース 事業	低炭素 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,666,796	109,494	2,776,291	28,990	2,805,281	-	2,805,281
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	2,666,796	109,494	2,776,291	28,990	2,805,281	-	2,805,281
セグメント利益又 は損失(△)	260,297	△40,145	220,152	1,523	221,676	△185,395	36,280

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及びリペア事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△185,395千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに属しない管理部門に係る一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	リユース 事業	低炭素 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,721,259	98,802	2,820,061	34,179	2,854,241	-	2,854,241
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	2,721,259	98,802	2,820,061	34,179	2,854,241	-	2,854,241
セグメント利益又 は損失(△)	132,520	△41,239	91,280	△12,393	78,887	△191,549	△112,662

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及びリペア事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△191,549千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに属しない管理部門に係る一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。